

Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

①2013年6月29日

②2013年7月27日・28日

③2013年8月25日

Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○member

12名

Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例：○○市ボランティア団体等

枚方市役所、公益財団法人枚方市文化財団、大阪府立枚方高校、大阪府立牧野高校、  
私立啓光学園ほか

Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1万円なら one hundred dollar

6500\$

Profit / Loss 利益／損失

説明：基金を集めること以外は、0にしてください

0

In Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目（もしあれば）

説明：

Who is benefited? 誰の為に？

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

地域に暮らす枚方市民（41万人）及び地域で暮らす外国人（約4千人）

Objective 目的

説明：(例1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

国際交流を通じて世界平和を創造できる青少年を育成するため。

## Overview 概要

説明：必ず結果と合致しているはず

我々は、地域に住む日本人学生と外国人留学生がともに議論し国際的な交流をする機会をつくることで、彼らが世界平和を創造できる人材となるに必要な下記の3つの PERSONAL SKILL を育成することが重要と考え、将来、国際的に活躍したいと願う日本人学生と、日本文化を学ぼうと願う留学生に対し提供した。

### 1. 自己・地域社会・国家への誇り

他者の思考や文化の違いを理解する。自分が何者であるかを考え直し、より深く知る（アイデンティティ）

### 2. 国際的視野と論理的思考力

言語・文化・年齢の違いを超えて、自分の意見や考えを相互に伝える。（コミュニケーション）

### 3. 自己の意見や価値観を伝えるスキル

自分の意見や考えをまとめ、他者に対して説得的・効果的に発信する（プレゼンテーション）

## Result 結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

日本人学生・留学生双方がともに日本文化を体験的に学び、議論し、発表する機会を得た。

### 1.

参加者は、地域にある寺院・神社を訪問し、専門家による講話から日本の伝統文化を学んだ。

参加者は、寺院・神社訪問等を通して、日本の歴史・文化を学ぶことができた。

日本人参加者は、外国文化との比較において自国の文化への誇りを得た。

外国人参加者は、日本文化との比較において母国文化を強く意識することができた。

### 2.

参加者は、「教育とグローバル化」「エネルギーと環境問題」「男女平等と職業観」という解決困難なグローバル・イシューを議題として、自ら調査し、英語で議論した。

参加者は、世界規模での問題解決が必要な高度なテーマについて、外国語やジェスチャー・図画などを駆使して議論した。

参加者は、国際的な視野と論理的な思考力、タフなコミュニケーション能力を身につけた。

3.

参加者は、地域の祭りにおいて、議論した内容と感想を一般市民に対して発表した。

参加者は、文化や言語の違いを乗り越えて協力し交流できる機会を得た。

参加者は、国籍・文化の異なる者同士がともに何かをやり遂げる困難さと課題を発見することができた。

また、こうした地道な作業の繰り返しによって、差異を強調するよりも共通点を探ることの重要性に気づいた。

4

参加者は、1～3によって、1. 自己・地域社会・国家への誇り、2. 国際的視野と論理的思考力、3. 自己の意見や価値観を伝える力をもった積極的な変革を創造できる青少年として必要な PERSONAL SKILL を身につけた。

5.

参加者が一般市民に対してプレゼンテーションを行うことにより、他の枚方市民も参加者が体験的に学んだ PERSONAL SKILL の重要性を共有することができた。

Actions Taken 行動

説明：

我々は、

2012年12月に事業実施にあたっての問題点や解決法について、以下の機関等と協議、調査した（枚方市教育委員会、財団法人枚方市文化国際財団、枚方市内の主要大学・高校ほか）

2013年1～2月に事業構築に向けて、J C I 枚方内担当委員会（グローバルユースリーダー育成委員会）内で集中的に議論した。

こうした協議や調査で得た事柄として、現時点で枚方市内の各機関、各団体でおこなっている国際交流事業では、以下の様な課題を発見した。

- ①お金のある成人向けの事業が大多数であること、また、毎年同じ形でおこなっているため参加者が重複し、続けることが目的になっている場合があること
- ②一緒にキャンプをおこなう、一緒にボーリングをおこなうなど、ともにレジャー施設に行くなど単なる一日限りのイベントに終わっている場合が多いこと
- ③問題解決が困難な課題について真剣に議論するという取り組みはほとんどないこと
- ④講師やコーディネータは、日本人の有識者（大学教授など）で、かつ、50代から60代が中心であること

以上の課題から、

- ①青少年向けに事業をおこなうこと

- ②事業場所そのものに内包的な効果があること
- ③一度きりの事業ではなく複数回の連続事業とすること
- ④解決が困難なテーマについて議論をおこない、またその結果を発表する機会を設けること
- ⑤コーディネートをお願いするチューターには国際交流の経験が豊富な外国人で、かつ、学生と同じ目線になれる人材とすることなどの結論を得た。

2013年3月 各会場の下見、後援名義の取得申請

2013年4月 募集開始 枚方市内にある高校9校、大学6校への挨拶回り

2013年5月 募集締切 参加申込者の選考会実施 結果通知

2013年6～8月 事業実施

なお、この間、枚方市教育委員会、財団法人枚方市文化国際財団、チューターを依頼したFMひらかたパーソナリティのスザンカ氏、各会場などとは断続的に協議調整をおこなった。

Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

- ①日本人学生は、日本や地域の伝統や文化への理解が不足している。
- ②外国人留学生は、日本や地域の素晴らしさに触れることで母国を意識できる。

この2つの問題意識から本事業は始まったが、事業実施後、アンケートの結果・参加者の感想などから、参加者には大きく以下の意識変革があった。

- ①日本人学生が、まずは日本や地域を知ることが重要だということ、もしくは自分自身にそれが不足していることに気づいた
- ②日本人学生が、人の話を聴くだけでなく、自らの意見や価値観を発信することが重要であることに気づいた。
- ③日本人学生が、国際社会において平和を模索し POSITIVE CHANGE を創造できる人材には①や②が不可欠であることに気づいた。
- ③外国人留学生が、日本や地域の伝統文化の素晴らしさについて触れたことで反射的に母国についても関心を深めた。
- ④全参加者が、英語はあくまで交流のツールである事に気付いた。
- ⑤全参加者が、解決困難なテーマに直面したときに、本当に必要なものは語学ではなく交流を継続する意思であることに気づいた。

⑥青年会議所メンバーは、これまで事業をおこなう際に地元で事業をおこなうことの重要さに気づいた。

(波及効果)

①寺院や神社を事業場所としたこと、また、専門家（住職・宮司）から講話を聞いたことが、参加者にとってインパクトが強く、日本文化を体験として学ぶことができた。後援名義をいただいた枚方市教育委員会がこの取り組みに関心を寄せ、教育長が視察に来られた。

②日本人学生と外国人留学生が、この事業の枠組みを越えて個別に連絡を取り合うようになった。

③それぞれの行事やイベントなどへ参加したりするなど、この事業での交流を通じて、参加者同士の個別に連絡を取り合う機会が増えた。

④外国人留学生は、留学の入れ替わりの時期が存在するため、今回一部の大学には予想したほどのご協力がいただけなかった。

ページ 3

Objectives, Planning, Finance and Execution

目的、計画、財務、実施

What were the objectives of this program?

このプログラムの目的は？

国際交流を通じて世界平和を創造できる青少年の育成です。

そのために開発すべき PERSONAL SKILL として、以下の 3 点が重要であると我々は考えた。

1. 自己・地域社会・国家への誇り

自らに誇りを持つことで、自らの思いを発信する文化的背景を獲得することができる

2. 国際的視野と論理的思考力

異なる価値観の相手に対して、予断や偏見を持たず、客観的な視点に立って行動できる

3. 自己の意見や価値観を伝えるスキル

彼らは、第三者（世界）へ発信し、世界平和に貢献することができる

How does this program align to the JCI Plan of Action?

この事業は、どのように JCI の活動計画と合っていますか？

地域の青少年育成によって、彼らを将来の「若き能動的市民」に育てることができる

特に、グローバルな視野をもった人材を育成することが、グローバルネットワークを通じた世界平和を構築することに資する点で、アクションプランの「次世代の能動的に行動する市民を創出する事を目的としている」という部分と合致する。

Was the budget an effective guide for the financial management of the

project?

予算は事業の財務管理の為の効果的なガイドになりましたか？

参加費は若い参加者が参加しやすいよう安価とし、一方で下記の点において支出を低減させた。

1. 地域の寺・神社の協力により講師料、会場使用料を0とした。
2. 公立のキャンプ場への宿泊により宿泊費用及び食事を抑えた。
3. 全ての事業について、近隣会場を使用し、交通費を抑えた。

How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業はJCIのミッションとヴィジョンを推進しましたか？

私達は、参加者が議論や交流を通じて、国際的に活躍する人材としての PERSONAL SKILL を向上させる POSITIVE CHANGE の機会を提供した。

私達は、世界各国からの参加者同士の交流により、若き積極的の市民のグローバル・ネットワークの構築ができた。

※画像4つ必要

ページ4

**Membership Participation** 会員の参加率

By number, how many members were involved in this program?

事業のスタッフは何人？

12人

By percentage, how many members of the Local Organization were involved in this program?

LOMメンバーの参加率は？

30%

Describe the main roles of the participating members in this program

このプログラムで参加しているメンバーの主要な役割を簡潔に記述してください

1

JCI 枚方メンバーは、まず枚方市教育委員会及び枚方市文化国際財団を訪問した。それぞれの機関に日本人学生と留学生の現状についてのヒアリングを行った。また、枚方市内9高校及び6大学へも訪問し、同様にヒアリングを行った。

2

我々は、ヒアリングをもとに作成したプログラムを実施した。

A 自らのアイデンティティへの気づきを深めることを目的に、寺院・神社をお借りし、それぞれ住職・宮司から日本や各施設の文化・歴史の成り立ちに関するお話をいただ

### くプログラム

B 忌憚なくディスカッションをおこなうため、宿泊施設で10名の班ごとの議論をおこなった。その際、班ごとに特定のテーマを設定し、各国の事業や現状を調べた上で、あるべき形について討論（テーマは、「理想の学校教育」「これからのエネルギー問題」「男女平等と就労の在り方」）。

C 議論で共通できる部分、差異のあった部分をそれぞれ、公の場で第三者に対して、全員で発表するプレゼンテーション。

3

事業実施後、参加者からアンケートを取ると同時に、それぞれの所属高校及び大学へヒアリングを行った。

※画像4つ必要

ページ5

Skills Developed 習得された技術・能力

What skills were developed in this program?

どんな技術・能力が、このプログラムで習得されましたか？

1. 参加者が自らに誇りを持つことで、異なる価値観の人々と新しい価値を創造することができた。
2. 参加者は新しい行動をおこし、異なる価値観の相手に対して、予断や偏見を持たず、客観的な視点に立ち、共に壁を乗り越える行動ができた。
3. 参加者は POSITIVECHANGE を起こし、他者に発信することができた。

上記の3つの SKILL を身につけたことで、参加者は、必要な基礎的教養、思考力、発信力を身に付け、かれらは地域で、国家で、世界で、活躍できるリーダーとなる契機を得た。

Describe the actual community impact produced by this project

このプロジェクトによって発生される実際のコミュニティへの影響を記述してください

1. 寺・神社で日本文化を外国との比較の中で学んだ。
2. 外国人と外国語を使って高度なテーマについて議論を行った。
3. 議論の結論を簡潔にまとめ、多くの人の前で発表した。

※画像4つ必要

ページ6

Impact on Participants 参加者への影響

What was the intended impact on the participants?

参加者への意図された影響は、何でしたか？

国際的に活躍できる人材に必要な Personal Skill を身につけること。  
国籍の異なる参加者との議論・交流をとおして異文化コミュニケーションの難しさとそれを乗り越えた経験を得ること。  
彼らが経験を得て成長し彼らの行動が変わりリーダーになってゆくこと。

Describe the actual impact on the participants.

参加者への実際の影響を記述してください。

※画像4つ必要

ページ7

Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期の影響は、何ですか？

参加者が、今後も若きグローバルリーダーとして地域で成長し、活躍することで、地域の多くの市民の意識を喚起し、他者を巻き込んだ運動を起こすことができるようになること。

What changes would you make to improve the results of this project?

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

参加者からのアンケートから以下の問題点がでた。

- ・ 事業のイメージと異なっている参加者がいたこと。
- ・ 長期的なスパンでこの事業をおこなってほしいという要望があったこと。
- ・ もっと戦略的な広報や周知方法を検討してほしいとの意見があったこと。

以上から、下記の改善案が認められる

- ・ 参加者のニーズと事業内容で与えられたメリットが合致していたかの検証。
- ・ 参加者へのその後の影響についての追跡的な効果検証
- ・ 教育関連機関、地域の行政との連携強化

※画像4つ必要